

令和 8 年度 愛知教育大学入学試験問題
標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：総合問題（家庭専修）

I

（出題の意図）

我が国では、急速な高齢化が社会保障制度の崩壊や高齢者の QOL 低下などを招き、社会的課題の一つとなっている。そのため、高齢者の痩せの実態を理解するとともに、在宅高齢者が低栄養からサルコペニアやフレイルを引き起こさないよう痩せ対策を考える必要がある。I では、高齢者の痩せに関する新聞記事と目標とする BMI の範囲の分布に関する資料を提示し、高齢者の痩せの実態を適切に理解し、その対策について考えさせる出題を行った。I への解答を通して、生活の視点からみた日本の超高齢社会に対する理解力、分析力、表現力を問う。

（評価の観点）

新聞記事や資料から、高齢者の痩せの実態について正しく読み取り総合的に理解しているか、また、在宅高齢者の痩せ対策について自分の考えが簡潔かつ論理的に述べられているかをみる。

II

（出題の意図）

近年、空き家に関する問題が顕在化している。特に、空き家の発生によって生じる防災性や防犯性の低下、ごみの不法投棄などは社会的な問題となっており、また、ストック型社会*への転換が求められているという点からも解決すべき問題のひとつであるといえる。こうした背景のもと、問 1 では日本における空き家の現状を示すことで、これらの情報を理解し、総合的に論述できるかを問う。問 2 では現状における問題点に気づき、地域社会に暮らす生活者の視点から解決案を提案できるかを問う。

*ストック型社会：住宅や橋、道路などの社会生活を支える基盤設備を長寿命化し、環境負荷や経済的負担を軽減した持続可能な社会のこと。

（評価の観点）

問 1：グラフから情報を正確に読み取り、理解した上で、現状について総合的に論述することができるかをみる。

問 2：空き家に関する社会的な問題点に気付くとともに、地域社会の一員として考えられる解決方法を論理的に提案することができるかをみる。